社会資本総合整備計画（第2回変更）

平成27年7月24日

計画の名称	歴史と和のまち・太子交流拠点地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度　～　平成28年度　（5年間）	交付対象	太子町

計画の目標

本地区は、斑鳩寺や鵤荘荘園遺跡などの条里制の名残をとどめる風景など、数多くの歴史的遺産が残っている。その一方で、宅地開発等により歴史的景観が急速に変化するとともに、地域での歴史的風習や文化、民俗も失われつつある状況にある。

そのような中で、新庁舎建設が本格化し、新庁舎を核とした「交流拠点」と斑鳩寺を中心とした「歴史拠点」及びふるさと文化村を中心とした「文化拠点」の、人と人が「つながるまち」を基本としたまちづくりが求められている。

このことから、本事業においてこれら3つの拠点(交流拠点、歴史拠点、文化拠点)をネットワークした太子の「都市拠点」を形成するために、総合的なまちづくり施策を展開するものである。

計画の成果目標（定量的指標）

・都市計画マスタープランにおける歩行者ネットワークの満足度を、2.33点から3.10点に増加する。
・町内における特産品直売所の箇所数を、1箇所から3箇所に増加する。
・区域内における主要公共施設の耐震化率を、44%から75%に増加する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23末）	中間目標値（H26末）	最終目標値（H28末）	備考
歩行者ネットワークの満足度 （満足度）＝(満足)5×人数＋(まあ満足)4×人数＋(普通)3×人数＋(やや不満)2×人数＋(不満)1×人数　／　合計人数	2.33	－	3.10	
特産品直売所の箇所数 （箇所数）（箇所）	1	－	3	
主要公共施設の耐震化率 （耐震化率）＝対策済数　／　公共施設数　（%）	44%	－	75%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	820百万円	A	820百万円 うち提案事業 50百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
1-A-1	都市再生	一般	太子町	直接	太子町	歴史と和のまち・太子交流拠点地区都市再生整備計画事業	A=82.3ha	太子町						820	
											合計			820	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
											合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

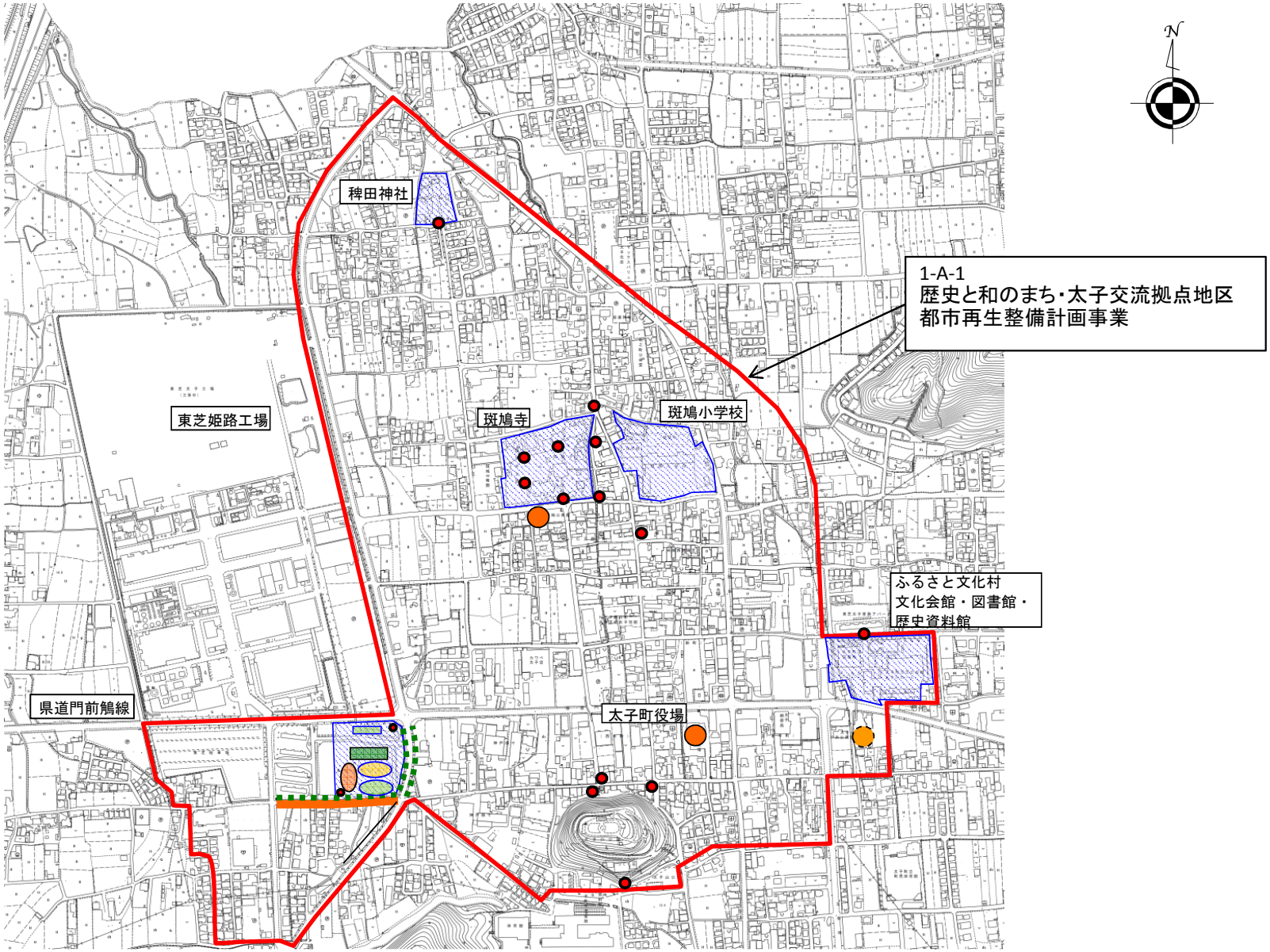
C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H24	H25	H26	H27	H28	全体事業費（百万円）	備考
											合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

（参考図面）

計画の名称	歴史と和のまち・太子交流拠点地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度　～　平成28年度　（5年間）	交付対象	太子町



社会資本整備総合交付金チェックシート

（都市再生整備計画事業等タイプ）

計画の名称： 歴史と和のまち・太子交流拠点地区都市再生整備計画　事業主体名： 兵庫県太子町

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2）上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
Ⅱ．計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
2）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1）まちづくりに向けた機運がある。	○
2）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	
3）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○